

ハイブリッド利用の多い科目（物理・化学・日本史）から、代表的な講師3人の紹介を載せました。超一流レベルの授業をご期待ください。



為近和彦 講師（物理）

「学問に王道なし、されど受験物理に王道あり」

ココを教えたい！ 物理は、数少ない基本公式、基本法則の組み合わせでできている。この基本を大切に、難解な問題にまで対処できるように、公式・法則の意味を考え、次に演習例題を行う。最後に重要ポイントを整理して、各章のまとめを行う。

君にメッセージ！ 学問に対して「何故」を忘れてはいないか？ 憶えることばかりに終始してはいないか？ 学問には学問の理があり流れがある。それを自分のものにできているか？ 日々、問いかけよ！ 己れに問いかけ続けよ！ そして「何故」を考えよ。答などわからなくてよい。「何故」は君達に考える力と、発想力と可能性を与えてくれる。「何故」なくして科学の発達はありえなかった。君達に必要なのは、地道な努力と「何故」である。



亀田和久 講師（化学）

「小手先のテクニックではなく“本質”をつかめ！」

ココを教えたい！ 化学的、いや科学的な現象は日常に満ちあふれている！ 講義ではその科学の面白さについてパワフルに語りまくる！ また完全オリジナルな手法による化学知識の『データベース化』と、そのネットワークを広げるための演習を行う！ 色えんぴつを使いまくり、非常にカラフルに仕上げていくので、楽しく参加できる！ 刺激の多い体感型の講義のため本当に『化学』いや『科学』が好きになる人が、毎年続出している！！！！

君にメッセージ！ 諸君はひょっとして「“小手先のテクニック”で何とか受験を乗り切ろう」「予備校でちょっと便利な方法でも聞いて問題集でもやればいいや」などと思っていないだろうか？ 果たしてそんな気持ちで今を乗り切ろうとしている諸君に、希望ある未来が開けているだろうか？ 答えは“NO！”である。右上がり一辺倒だった経済成長の時代が終わり、世界的に地球環境が騒がれている現在、求められているのは“本質”なのだ。この“本質”を求めのために一緒に学ぼうではないか。



土屋文明 講師（日本史）

「何をすべきかを明確にして必ず合格させる！」

ココを教えたい！ 歴史事項整理欄（＝サクセスナビゲーター）に書き込みをさせ、大学別・レベル別のオリジナルノートを作成させる。テンポある講義とテクニカルなノートの活用を指示し、効率のよい学習をおこなわせる。方向性のない努力、根性主義の学習で1年を棒にふることはない。受験日本史必勝の学習法は私の講義のみにおいて存在する。

君にメッセージ！ 君達が待望している授業とは何か？ 受験の日本史は、暗記必須の科目だといわれる。でも、歴史の全てを暗記なんかできるのか？ 歴史的語句を正確に理解し、史実の総合関連性を把握する作業は想像以上に大変なことなんだ。だから効率よく理解し、何をすべきかを明確にできる講義こそが君達には必要だ。それを求めて予備校に来たんだろう？ 君達が真に待望する授業を、私の講義で展開しよう。